NEC

GVT-274041-001-00　6.0

QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ
マニュアル訂正資料

Copyright © NEC Corporation 2026

All Rights Reserved

事前に NEC の書面による許可なく、本マニュアルをいかなる形式または方法で複製または配布することを禁止します。

商標

本マニュアルに記載されているその他の商標は、各社が保有します。

注意

本マニュアルの内容は、予告なく変更されることがあります。本マニュアルのすべての記述、情報、および推奨事項は、明示的か暗黙的かにかかわらず、いかなる種類の保証の対象になりません。

本資料について

この資料は、以下に示す QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチに関するマニュアルからの変更内容を記載しています。

マニュアル	マニュアル番号	内容
QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ インスタレーションマニュアル	GVT-125430-001-00 1.5	システムのインストールについて説明しています。
QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル	GVT-125431-001-00 1.9	機能の設定について説明しています。
QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル	GVT-125432-001-00 1.8	機能に関するコマンドについて説明しています。

発行

2026 年 10 月(6 版)

© NEC Corporation 2025

改版履歴

版数	日付	内容
1.0	2026/1/5	新規作成
2.0	2026/1/20	#13376、#13634、#15848 の追加
3.0	2026/2/6	#17251 の追加
4.0	2026/4/23	#17880 の追加
5.0	2026/09	#20290 の追加 3 章「QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル」について、 セキュリティの章が複数あったため、統一しました。
5.1	2026/10	マニュアルへの反映に伴い訂正資料の改版を実施
6.0	2026/10	#17303、#21601 の追加

© NEC Corporation 2025

目次

1章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ インスタレーションマニュアル 6
2章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル 8
05-セキュリティ 9
5.12 ポートでの認証方式のトリガー順序の設定 9
3章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル 10
改版履歴 11
02-アクセス 12
9.1.1 display loopback-detection 12

© NEC Corporation 2025

1章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ インスタレーションマニュアル

© NEC Corporation 2025

追加および変更はありません。

© NEC Corporation 2025

2章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ オペレーションマニュアル

© NEC Corporation 2025

05-セキュリティ

5.12 ポートでの認証方式のトリガー順序の設定

■管理情報

区分	管理番号
削除	＃21601

■内容

変更後）

5.12 ポートでの認証方式のトリガー順序の設定の章を削除

© NEC Corporation 2025

3章 QX-S1100G シリーズ Ethernet スイッチ コマンドマニュアル

© NEC Corporation 2025

改版履歴

■管理情報

区分	管理番号
削除	＃21601

■内容

変更後）

1.5 版の履歴から「07-セキュリティの 4 章ポートセキュリティに port-security triple-auth-order mac-dot 1 x-web コマンドを追加しました。」を削除

© NEC Corporation 2025

02-アクセス

9.1.1 display loopback-detection

I.表 9-1 コマンド出力

■管理情報

区分	管理番号
変更	# 17303

■内容

変更前）

表 9-1 コマンド出力

フィールド	説明
Action mode	ループガードのアクションです。 • **Block**–ポートでループが検出されたとき、装置は以下の処理を行います。 　◦ ログを出力します。 　◦ MAC アドレスの学習を無効にします。 　◦ ポートをブロックします。 • **None**–ポートでループが検出されたとき、装置はログを出力しますが、ポートでアクションは行いません。 • **No-learning**–ポートでループが検出されたとき、装置はログを出力し、MAC アドレスの学習を無効にします。 🕮 **メモ：** **loopback-detection action shutdown** コマンドを設定し、ポートでループが検出されたとき、ポートがシャットダウンします。ポートのシャットダウンによってループ状態が解除されるため、**display loopback-detection** コマンド上に検知ポートは表示されません。“Shutdown”状態が表示されることはありません。

変更後）

© NEC Corporation 2025

表 9-1 コマンド出力

フィールド	説明

Action mode	ループガードのアクションです。
	• **Block**–ポートでループが検出されたとき、装置は以下の処理を行います。
	  ○ ログを出力します。
	  ○ MAC アドレスの学習を無効にします。
	  ○ ポートをブロックします。
	• **None**–ポートでループが検出されたとき、装置はログを出力しますが、ポートでアクションは行いません。
	• **No-learning**–ポートでループが検出されたとき、装置はログを出力し、MAC アドレスの学習を無効にします。
	• **Shutdown**–ポートでループが検出されたとき、装置は以下の処理を行います。
	  ○ ログを出力します。
	  ○ ポートをシャットダウンして、ポートがフレームを送受信できないようにします。装置は、一定時間後に自動的にポートをフォワーディングステートに設定します。**shutdown-interval** コマンドを使用して時間間隔を設定します。詳細はコマンドマニュアルのセクション 1 はじめに “装置管理”を参照してください。

© NEC Corporation 2025